春季特別展

お祝迦さん ワールド

ブッダになったひと

開催中

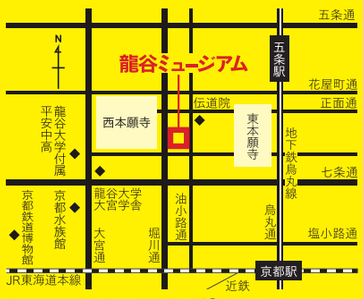
2018 6/17 sun まで

❶誕生釈迦仏立像　統一新羅(8〜9世紀)　広島・康徳寺
❷『ブッダ』1972年9月号〜1983年12月号『希望の友』〜『少年ワールド』〜『コミックトム』連載　©手塚プロダクション

開館時間｜10:00〜17:00
※入館は16:30まで
休館日｜月曜日
入館料｜一　般 1,200円
高大生　800円
小中生　400円

※小学生未満、障がい者手帳などの交付を受けている方およびその介護者1名は無料
●作品保護のため会期中に展示替えがあります。

主　催｜龍谷大学 龍谷ミュージアム、京都新聞、日本経済新聞社
特別協力｜浄土真宗本願寺派、本山 本願寺、手塚プロダクション
後　援｜京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、(公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都
協　賛｜(公財)仏教伝道協会



アクセス ●JR・近鉄・地下鉄烏丸線「京都」駅から徒歩約12分
●地下鉄烏丸線「五条」駅から徒歩約10分
●京都市バス(9・28・75系統)
「西本願寺前」下車 徒歩約2分
※当館には専用の駐車場はございません。
ご来館の際は、バス等の公共交通機関をご利用ください。

龍谷大学
龍谷ミュージアム
RYUKOKU MUSEUM
〒600-8399 京都市下京区堀川通正面下る［西本願寺前］
TEL:075-351-2500 FAX:075-351-2577 http://museum.ryukoku.ac.jp/

木田知生
◉龍谷大学 龍谷ミュージアム 顧問

哲夫
◉お笑いコンビ「笑い飯」

木田知生◉きだ ともお
1949年愛知県生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。専門は中国近世史。主に宋代史を中心に、文化史や社会史を研究領域としている。その他、史学史や都城史、および目録学にも関心を持っている。北京大学歴史系への留学、龍谷大学図書館長などを歴任後、2016年4月〜2018年3月まで龍谷ミュージアム館長を務め、2018年3月に龍谷大学を退職。同年4月から現職。著書に『司馬光とその時代』(白帝社)など。

哲夫◉てつお
1974年奈良県生まれ。関西学院大学文学部哲学科卒業後、2000年に西田幸治とお笑いコンビ「笑い飯」を結成。2010年にM-1グランプリで優勝を果たす。幼い頃から般若心経に関心を寄せ、仏教について独学。2015年から奈良国立博物館の文化大使を務める。著書に『えてこでもわかる 笑い飯 哲夫訳 般若心経』『ブッダも笑う仏教のはなし』など。

龍谷大学大宮学舎 本館講堂

スペシャル対談

笑い飯 哲夫さんと話しました

お釈迦さんって、どんなひと？

出山釈迦図　法印虔誠賛　中国 明(17世紀)
展示期間5/20まで

重要文化財 仏涅槃図(部分)　周四郎筆　中国 南宋(12〜13世紀)
愛知・中之坊寺　展示期間5/20まで

龍谷大学 龍谷ミュージアムは、宗派を問わず広く仏教文化を紹介する国内唯一の仏教総合博物館です。今春は仏典や彫刻、絵画約130件から、仏教の開祖・お釈迦さんの「人間」としての姿を探る特別展「お釈迦さんワールド ―ブッダになったひと―」を開催中です。本展を記念して「仏教好き芸人」として知られる笑い飯 哲夫さんと龍谷ミュージアム顧問の木田知生さんが、お釈迦さんの世界について語り合いました。

"お経の響き"に魅せられた哲夫少年

木田　哲夫さんのご本、とても面白く拝読したんですが、そもそも仏教に関心を持たれたきっかけは？

哲夫　子どもの頃から秘かに「お経好き」やったんです。月命日にお坊さんのお経を聞いて「かっこええ響きやなあ」と。訳の分からん言葉にもちゃんと意味があると知ると面白くなって、いろいろ調べるようになりました。ある時テレビ番組の「抜き打ち荷物チェック」でネタ帳に書いていた般若心経を見つけられて。以来、仏教系のお仕事もいただくように。

木田　そんな哲夫さんはよくご存じですが「お釈迦さんワールド」のお釈迦さんとは、今から2500年程前にインドの小部族「シャーキャ族」に生まれた王子。本展は実在したお釈迦さんを正面に据えた展覧会なんです。

哲夫　仏教の大本＝お釈迦さんに特化した展覧会ってありそうで、なかなかない。観音さんなども好きですが、やっぱりお釈迦さん。張本人マニアの僕としては、よくぞやってくださった！という心境です。副題の「ブッダになったひと」もおしゃれ。ブッダとはものの真理を「悟った人」という意味で、悟るまではガウタマ・シッダールタだけれど、悟った後はブッダと名乗ってよい存在になったんですよね。

お釈迦さんの人柄を偲ばせる「仏伝」

木田　ガンダーラの仏伝浮彫《降魔成道》をはじめ、お釈迦さんがどのようにブッダになっていったか、その生涯を伝える物語「仏伝」を描いた美術品も多く並んでいますが、哲夫さんが印象に残るお釈迦さんのエピソードは？

哲夫　やっぱり亡くなる時が切ないです。豚肉にあたったとか。支援者に振る舞われた料理を食べたお釈迦さんは、容態が急変しながらも「最後の食事を提供してくれた」と感謝を示す。ああ、お釈迦さんやなあと。

木田　お釈迦さんの最期の様子は「涅槃図」などで繰り返し描かれる永遠のテーマ。今回は中国や日本の「涅槃図」6点がそろいました。

哲夫　《出山釈迦図》も良いですよね。苦行をやめて山から下りてきた姿は人間味がある。

木田　お釈迦さんを描いたものは色々あり、おそらくイメージと違う野性味のある姿も。生まれたばかりの像は、チラシにもある《誕生釈迦仏立像》です。

哲夫　すごいなー、可愛いですね。8世紀に笑顔のお釈迦さんを作ってはる！生まれてすぐに7歩歩いて天地を指し、「天上天下唯我独尊」と言ったという姿ですよね。

木田　この言葉をどう解釈するかは諸説ありますが、私は哲夫さんの本にもある説に賛成です。

哲夫　自分だけが偉い、ではなく、「皆と同じくこの世に唯一の存在だから貴い」という平和的な解釈を僕はしています。だから暴走族の特攻服の刺繍「天上天下唯我独尊」を見ても、すごく平和に感じるんです(笑)。

仏伝浮彫「降魔成道」
ガンダーラ 2〜3世紀　兵庫・永澤寺

このひとがいなければ"世界"は変わっていた

木田　本展ではこうしたお釈迦さんの生きた時代や、入滅後いかに人々に追慕されてきたかなども取り上げています。お釈迦さんの遺骨「舎利」もテーマの一つで、ガンダーラから中国までアジアで様々に伝わってきた舎利容器が並んでいます。

哲夫　2000年も前のものが残されているのは、すごいこと。永い間よう守ってくれたと思います。お釈迦さんは「悟り方はそれぞれ。ええと思ったら(周りに)教えてやったらええがな」と言われた。だから今これだけ宗派が分かれている訳ですが、枝分かれした出口から遡っていくとみんな「お釈迦さん」という入口に行き着く。この方がいたのといなかったのとでは、後世が違う。でも、お釈迦さんは「全てのものは移ろいゆく」とも言ってはる。移ろいゆくはずのものが今も残る「舎利」は矛盾だけれどロマンでもあり、面白い存在ですよね。

木田　ロマンと言えば、マンガ「ブッダ」を描いた手塚治虫さんの直筆原画も今回展示しているんですよ。様々なイベントやお釈迦さんの生涯を描いた特別映像もありますので、哲夫さんもぜひお越しください。

哲夫　豪華ですね〜。本のネタも見つかりそうやし、伺わせてもらいます。皆さんもぜひこの展覧会で「お釈迦さんは実際に生きていた」ことを、実感してください！

企画・制作＝京都新聞COM

関連イベント

記念講演会「手塚治虫からのメッセージ」
―手塚治虫がマンガを通して読者に伝えたかったこと
日時：6月3日(日)13:30〜15:30
会場：龍谷大学大宮学舎東黌303講義室
講師：松谷孝征 氏(手塚プロダクション代表取締役社長)
事前申込み必要／聴講無料／先着200名／観覧券必要(観覧後の半券可)

月夜のミュージアム落語「落語会&噺家ギャラリーナビゲート」
日時：6月2日(土)18:00〜20:00(受付17:30〜)
会場：龍谷ミュージアム地下エントランスホール
出演落語家：月亭天使 氏、桂米紫 氏
参加費：2,000円(観覧券付) ※参加費は当日受け付けます。
落語と解説で"クスッ"と笑う「お釈迦さんワールド」をご案内します！
事前申込み必要／先着100名

「紙芝居屋ガンチャンの紙芝居ショー」
日時：5月26日(土)14:30〜
会場：龍谷ミュージアム地下エントランスホール
出演：本展シアター映像
紙芝居「シッダールタさんの人生」主演 ガンチャン
事前申込み不要／鑑賞無料

ワークショップ「写仏散華をつくろう！」
日時：5月13日(日)①10:30〜12:30 ②14:00〜16:00
会場：龍谷ミュージアム101講義室
講師：吉田香織 氏(美術散華保存会)
参加費：1名300円
大人も子どもも誰でも簡単！準備物不要(絵具を使用します。汚れても良い服装でご参加ください)
事前申込み必要／先着各30名／観覧券必要(観覧後の半券可)

スペシャルトーク
講義室で学芸員が展覧会の見どころを解説！
日時：5月12日(土)・26日(土)13:30〜14:15
会場：龍谷ミュージアム101講義室
事前申込み不要／聴講無料／観覧券必要(観覧後の半券可)

ギャラリートーク
展示室で学芸員が作品を観覧しながら解説！
日時：5月5日(土)・19日(土)13:30〜14:15
集合：龍谷ミュージアム101講義室
事前申込み不要／聴講無料／観覧券必要(観覧後の半券不可)

お申込み方法などの詳細は、龍谷ミュージアムHPをご覧ください。